

SHINCHI

2023
No.627

新地

広報



遊海しんち開催！
(2~5ページに関連記事)





新地町の夏のお祭り「遊海しんち2023～つながる心、つながる力に！元気と笑顔を届けよう～」が8月5日、釣師浜海水浴場・釣師浜漁港周辺で開催され、来場者約20,000人が新地の夏を楽しみました。

会場では、海ならではの漁船パレードやそうめい乗船体験、砂浜での宝さがしなどのビーチイベント、ステージイベント、PRブース、飲食店ブースの出店、700食限定の浜焼きが行われ、祭りを盛り上げました。

フィナーレでは、釣師浜の夜空へと音楽にのせた約3,700発の花火を打ち上げました。花火の打ち上げには、多くの皆様から協賛金のご協力をいただきました。

遊海しんちの開催にあたりましては、準備、運営ボランティアなど様々な企業、団体、大学などのご協力により開催することができました。皆様のご協力ありがとうございました。



ゆかい 遊海しんち2023

～つながる心、つながる力に！元気と笑顔を届けよう～

ステージイベント



フラモアニ





飲食店ブース



明治大学



UDCしんち



漁船パレードでは、釣師浜漁港の漁船 25 隻が集結した大迫力のパレードで来場者を魅了しました。国土交通省所有の港湾業務艇「そうめい」の乗船体験が行われました。午前午後1回ずつ行われ、釣師浜漁港を出発し、相馬港周辺を巡るコースで海から沿岸部の景色を眺めることができ貴重な体験となりました。

釣師浜海水浴場近辺で、ビーチイベントが行われ祭りをさらに盛り上げました。

宝さがし大会では、開始前から長蛇の列ができるほどの多くの子どもたちが参加し、宝物のカプセルを探して、イベントを楽しみました。

そうめい乗船体験！



漁船パレード



ビーチイベント

宝探し大会



あるかな～



1等いぇい！



1等よ来い！





伊達開拓ふるさと従兄弟（い〜とこ）スポーツ祭

歴史が結ぶ絆 スポーツで交流

伊達開拓『ふるさと従兄弟（い〜とこ）スポーツ祭』が7月29日、柴田町で開催され、バレーボールの競技に尚英ガッツJVCが出場しました。

スポーツ祭は、伊達開拓の関係市町村である新地町、宮城県山元町、亘理町、柴田町、北海道伊達市が「ふるさと姉妹都市・歴史友好都市」として、絆を深めるために2年に1度開催しているものです。

バレーボール競技に出場した尚英ガッツJVCは、普段対戦機会のないチームと対戦し、スポーツを通して交流を深めました。



第8回デイキャンプ〜ワクワクキッズデイキャンプ！！ in 新地町〜

明治大学生とアウトドア活動

8月6日、7日の2日間、新地小学校で明治大学体育会ローバースカウト部による「第8回デイキャンプ」が開催されました。町内の小学1年生〜6年生の43名が参加しました。

今回は、連日の暑さによる熱中症対策により、予定していた相馬地域開発記念緑地から、新地小学校へ会場を変更して、屋内での活動を中心とし、屋外での活動はできるだけ日陰を利用し短時間で実施する対策により開催されました。

児童たちは、ボーイスカウト活動の様々なプログラムを通じて、普段できないアウトドア活動を楽しく体験していました。その他、明治大学の学生には5日に行われた「遊海しんち 2023」の運営ボランティアにもご協力いただきました。



株式会社リードより寄附

町の教育振興のために

8月9日に株式会社リードの鍋谷代表取締役が町役場を訪れ、大堀町長に寄附金を贈呈しました。

毎年寄附金をいただいております。今回贈呈していただいた寄附金は、新地町奨学金返還支援事業助成金の事業費として活用させていただきます。



しんちーむボランティア活動

明治大学生と子どもたちでスノードーム作り

8月4日に福田児童クラブ、新地児童クラブ、駒ヶ嶺児童クラブで明治大学公認サークル「しんちーむ」による、特別授業が行われました。

ペットボトルやビーズを使用したスノードームの製作では、色とりどりのスノードームを作成し、心待ちにしていた児童たちは、普段交流する機会が無い大学生との交流に喜んでいました。

「しんちーむ」は東日本大震災を機に、地域振興・子どもたちへの教育を掲げて創設された明治大学公認のボランティアサークルです。



▲福田児童クラブ



▲新地児童クラブ



▲駒ヶ嶺児童クラブ

スポーツ激励金交付式

激励金を交付し健闘を祈る

8月9日と18日に、町役場でスポーツ激励金交付式が行われ、大堀町長より各種大会に出場する個人・団体へ激励金が交付されました。

- ・尚英中学校男子バレーボール (第14回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会)
- ・新地柔道スポ少 佐藤 樹選手 (全日本小学生育成プロジェクト 2023)
- ・市町村野球新地町チーム (第17回市町村対抗福島県軟式野球大会) (15ページに関連記事)
- ・市町村ソフト新地町チーム (第10回市町村対抗福島県ソフトボール大会) (15ページに関連記事)



▲尚英中学校男子バレーボール



▲佐藤 樹選手



▲野球新地町チーム



▲ソフト新地町チーム

町の子ども達のSDGs学習の支援



7月27日に、相新建設株式会社の志賀代表取締役社長と株式会社常陽銀行原町支店の小野塚支店長より子どもたちのSDGs教育への活用のために寄附金が贈呈されました。

当寄附金は、「地域社会の発展と安全に貢献する企業」として相新建設株式会社が常陽銀行原町支店の寄贈サービス付私募債（社会貢献応援債）を発行した際に、銀行が受け取る手数料の一部を寄附金として町に寄贈いただきました。

あんこ地蔵尊盆踊り

地域の伝統を受け継ぐ

あんこ地蔵尊盆踊りが8月20日に、小川自治会主催で二羽渡農村公園で行われました。

あんこ地蔵は、元禄年間にこの地に移り住んだ、家山和尚が人々を救う想いを託し建立したと言われていています。毎年、命日の8月にあんこ地蔵供養祭・盆踊りが開催され、和尚が大好きだったあんこをお地蔵様の口元に塗り、盆踊りを踊って供養しています。



海上自衛隊護衛艦「やまぎり」の入港歓迎式



相馬港に寄港

7月14日に、海上自衛隊護衛艦「やまぎり」の入港歓迎式が相双地区自衛隊協力連絡協議会の主催により、相馬港3号ふ頭で開催され、関係者ら約30名が出席しました。

14日、15日には、一般公開が行われ、訪れた方々は普段は見るできない艦内に入り、貴重な見学をしました。

あぶくま信用金庫より寄贈

地区住民サービス向上に寄与

8月9日に、あぶくま信用金庫新地支店の佐藤支店長より、役場の窓口における住民サービス向上のため軟骨伝導イヤホン・スタンド・充電用アダプターセットなどが町へ寄贈されました。

今回の寄贈は、町との地域密着総合連携協定により地域貢献活動の一環として行われました。

軟骨伝導イヤホンは町健康福祉課の窓口を設置しており、耳の聞こえにくい方との窓口対応に活用されています。



新地町のみなさま、こんにちは。イベントが多くにぎやかだった8月も元気に過ごされたことと思います。2023年7～8月の活動報告をさせていただきます。

【活動報告】

7月18日(火)：東京大学消費生活協同組合では、11月27日(月)から12月1日(金)まで「東大生協新地町フェア」を開催し、新地町の食材を使ったメニューの提供や特産品の販売を学生食堂や売店で行います。東大生協は、福島県を食から応援する取組みを昨年度から続けています。

この日は東大生協関係者が、相双漁協やJAふくしま未来などの生産者・事業者を訪問し、生產品や商品を実際に確認させていただきました。暑い中をご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。おかげさまで、東京大学の各キャンパスで、新地町のおいしいものを食べてもらうことができそうです。



7月31日(月)：東京大学大学院新領域創成科学研究科の割澤副研究科長（産学連携担当）が新地町を視察し、町役場のみなさんに新地町のまちづくりの取り組み等についてご説明いただきました。国立環境研究所や新領域創成科学研究科の協力を得ながら、UDC しんちとして提案ができるように調整を進めてまいります。



8月5日(土)：遊海しんちのUDC しんちブースに遊びに来てくださったみなさん、目白大学学生が作ったストラックアウトや輪投げは楽しんでいただけましたか。学生の調査研究のためのアンケートにご協力いただいたみなさんも大変ありがとうございました。ふだんはあまりお会いできない地域住民のみなさんともお話しをすることができて、目白大学と地域デザインスタジオの学生にとっては貴重な機会となり、町の方々と一緒にもっと活動したいという動機づけにもなったようです。

9月12日(火)は、尚英中学校環境・エネルギー学習プログラムが、文化交流センターで13時30分から開催されます。5年目を迎える本プログラムでは、今年度から地域のみなさんにも授業を公開することといたしました。事前登録は不要ですので、中学生と一緒に国立環境研究所と東京大学研究者の授業をどうぞお楽しみください。（詳細は裏表紙をご確認ください。）



facebook

UDC_SHINCHI
instagram

町の昔話コーナー

《八平のずんだ餅》



昔々 福田に布施八平ふせはちべえというたいそう餅の好きな侍がおったと。

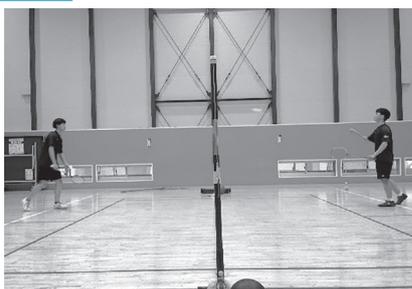
八平は、朝餅食って、昼餅食って、夜餅食って、小昼にも餅食うほどの餅好きだった。餅は腹持ちがいい上に、八平は大した仕事もしねえでぶらぶらしていたもんだから、さっぱり腹が減んねえんだと。餅は食いたいし、腹は減んねえしで困っていった。そこで餅を食った後は、家の前さある坂道を上り下りして腹ごなしすることにしたんだと。八平は、毎日毎日、晴れても、雨が降っても坂道を上り下りしたと。餅と言ってもいろいろあっけんど、中でも八平が好きなのは、あんこ餅だったと。あんこ餅が食いたくて、自分の畑に小豆をいっぺえ植えていたんだけんどもある年、小豆が不作で夏になったら小豆がなくなってしまった。あんこ餅は食いたいし、小豆はないし、八平は困ってしまったと。畑に行ってみたれば大豆に実が入り始めていったと。その頃は、大豆はみそや豆腐や納豆にするので黄色くなってから収穫するのが普通だったから、青いうちに収穫するなんぞとんでもないことだったのや。小豆が実る秋まで待ちきれない八平。青い大豆とってきて、ゆでて潰してみたど。砂糖なんぞ手に入らない時代のこと、干し柿や飴で甘くして、それを餅につけて食ってみた。これがべろ抜けるほど、んめがった。八平は、上機嫌で朝も昼も夜も食ったと。そして食った後の腹ごなしに、せつせと坂道を上り下りして歩いたんだと。ところが梅雨の時期になるとこの坂道は泥んこになるんだ。こういうぐちゃぐちゃの坂のことを「ずんだら坂」って言うんだと。八平はずんだら坂を上り下りして、ずんだらのような餅食っていたもんだから、この餅を「ずんだら餅」と呼ぶようになり、いつしか「ずんだ餅」って言うようになったんだと。八平の家の前の坂は今でも「八平坂」って呼ばれているんだと。

新地語ってみっ会では、語り部による昔話や紙芝居など毎月第3土曜日 13時30分から二羽渡神社南、おがわ観海堂（小野俊雄宅離れ）にて参加費無料で、公開しています。興味のある方はぜひご参加ください。

◎問い合わせ 新地語ってみっ会（電話：62-2441）

相馬総合SHINCHI SCHOOL BUILDING 馬総合高等学校新地校舎

「部活動を終えて」



各部活動が最後の大会を終え、いよいよ進路活動も本格化してまいりました。初心者3人で活動をやり抜き、本校舎の生徒とともに切磋琢磨したバドミントン部の部長に、部活動での思い出を聞いてみました。

部活動を通して、2つのことを学びました。1つ目は、努力の大切さです。経験者に負ける悔しさを味わったことがきっかけで、人一倍の努力をした結果、3年次には勝利することができました。2つ目は、感謝の気持ちです。先生方や仲間をはじめ、多くの方に支えられてきました。部活動で学んだことを大切に、今後にかかしていきたいと思います。

3年A組 齋藤 東早

◎一般書

『師匠はつらいよ』

杉本 昌隆



師匠は背中ですすべし、三歩下がって師の影を踏まず…。藤井聡太竜王は、師の影どころか本体まで踏んづける勢いで私を追い越していった。天才藤井聡太の師匠が、強すぎる弟子や将棋界のユーモラスな出来事を綴る。

『母の味、だいたい伝授』 阿川 佐和子
『Let's Do アンミカ』 アンミカ
『業務改善の仕組み』のつくり方
『じつは裁判所ってこんな所なんです！』
『かごと器の技法がわかる竹細工編み方のポイント』

◎CD

『COCONUT』 NiziU
『なつかしい未来』 さだまさし

《来館イベント》

『たくさん読んで読書くじ』

9月2日(土)から10月15日(日)の期間に本やDVDをたくさん借ります。10冊分の貸出しシートを集めると読書くじが引けます。

《展示コーナー》

郷土資料展『5人の偉人たち』
9月2日(土)～10月15日(日)
目黒重真・遠藤新・高野孟矩ら5人に焦点を当てた図書館所蔵資料の展示を行います。

『どうする？どうなる？おいおいの暮らし』
9月2日(土)～10月15日(日)
認知症の人、それを支える人、予防法など正しい情報や知識を得るための本を紹介します。

『季節のおすすめ絵本 ～月・敬老・空～』
9月1日(金)～9月30日(土)
読み聞かせ等に最適な絵本を展示・貸出します。

◎児童書

『黒の皇子』

小森 香折



選ばれし者だけが読める魔導書「サロモンの書」をめぐり、運命に導かれるように冒険の旅に出る少年ノアと、相棒ネズミのパール。本格ファンタジー『青の読み手』『紅の魔女』に続く第3弾。

『わるテリアとずるドッグ』 あきやま ただし
『宇宙食になったサバ缶』
『ご当地珍名見つけ隊』
『めざせ鉄道博士！日本全国鉄道路線地図』
『NHKいないいないばあっ！ワンワンとかくれんぼ』

◎DVD

『映画クレヨンしんちゃん爆睡！ユメミーワールド大突撃』
『キングダム 2 遙かなる大地へ』

《講演会のお知らせ》

『「新地を創った人々」調査から見えてきたもの』

日時：9月24日(日) 13時30分～15時

場所：新地町図書館(視聴覚室)

講師：秦 純子氏(「新地を創った人々」作者)

内容：伊達市出身で東京在住の秦純子氏が、新地町の郷土に関心を持ち、どのように資料を収集し1冊の本にまとめたのか。また、その過程の調査から見えてきたものは何だったのか。作者ご本人からお話を伺います。

定員：40名

事前申込：新地町図書館へ

(新地町図書館62-5031まで)

図書館カレンダー(9月)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

■は休館日

ホームページ
はこちらから



図書館HP

保育所から
こんにちは
駒ヶ嶺保育所

「これなあに？」
知りたいこといっぱい♪
3歳児の保育から

「自分で」がんばるよ！

〈食事〉

毎日の保育の中で「先生、これなあに？」「なんでなんですか？」と、まわりの物への興味や関心がいつぱいの子どもたち。そこから「やってみてみたい！」「知りたい！」といった好奇心や探求心もたくさん出てきます。色々なことに挑戦しながら、楽しく活動している子どもたちです♪

「やってみてみたい！」という子どもの気持ちを尊重して見守ったり、難しい所は先生と一緒にやってみながら、できるようになった実感や自信につながっていくようにしています。「自分でできたよ！」とうれしそうな笑顔は最高です♡

スプーンを下から持つことに慣れてきたら、箸への移行のタイミングです。始めは難しいですが、先生と一緒に食材をつかんだりすることで「つかめた！できた！」と喜びを感じることが出来ます。

〈衣服の着脱・片付け〉

腕・頭の順番で服を脱いで、脱いだ服は畳んで片付けできるようにしていきます。繰り返し取り組むことで服の端と端を合わせるようになります！



おもちやを使った自由あそびからも、友だちとの関わり方など色々なことを学んでいきます。
ゆずり合い・順番を守る・交代するという簡単なルールを守ってあそぶことができますようになってきます！



〈季節の製作〉

3歳児になると、ハサミを使った製作にも取り組み始めます。一回切りからはじめ、少しずつ長い線も切っていきます。その他の製作でも、のりで貼ったり、おりがみを折ったりして指先をたくさんつかった活動にも取り組んでいます♪



子どものつぶやき
給食中に外を眺めている
Hくん。(3歳児 男児)
Hくん「今日はいっぱい車が通るね」
先生「そうだね。みんなどこに行くのかな？」
Hくん「たぶんカニ取りだよ！」
海のいきものが大好きなHくんでした♪

9月の行事予定
●運動会
30日 各保育所
●育児サロン
各保育所
随時受け付けています。



たんぽぽひろばでは、その季節ならではの遊びを活動に取り入れています。夏真っ盛りの8月は「水遊びとスイカ割り」を行います。この日を楽しみにしていた1・2歳のお子さんを待つ親子が参加しました。水遊びの前に準備体操をして身体をほぐした後は、待ちに待った「プール遊び」の時間です。水着に着替え、恐る恐る足を濡らしたり、自分から進んでプールに入って、じょうろやペットボトルで水遊びを始めました。水に触れ「キョトン」としながらも「なんか気持ちいいね。」とたっぷり遊びました。プール遊びを楽しんだ後は、「スイカ割り」です。棒を持ち、お母さんと一緒にスイカを叩

あつらいーでもたのしいー！ 「水遊びとスイカ割り」

いてみました。一生懸命スイカを叩く姿は、かわいらしく「もう一回やりたい！」と挑戦するお子さんもいました。切ったスイカを親子で味わい「夏のたんぽぽひろば」の1ページを閉じました。夏休み期間中は、児童クラブの小学生もいるため、児童館はとつても賑やか。この日も「たんぽぽひろば」を見学させてもらい、かわいらしい子どもたちにくぎ付けの小学生でした。幅広い年齢の子どもたちが交流できる機会も夏のたんぽぽひろばならではの時間です。



たんぽぽひろばの予定

月日	内容	場所
9月20日(水)	わくわく！ゲーム大会	児童館
10月4日(水)	たんぽぽひろば運動会	町総合体育館

※参加には事前の予約が必要です。
※詳しくは新地町ホームページ内「子育て支援サイト」をご覧ください。



子育て支援
サイト HP

新地町児童館ご利用案内

開館時間 月曜から土曜 10時から18時
休館日 日曜日・祝日・年末年始
午前 なかよしひろば（月曜から土曜）
たんぽぽひろば（月2回）
午後 児童クラブ

※土曜・長期休業期間は8時から18時

◎問い合わせ 児童館（電話：62-4432）

母と子の健康 スケジュール

健康診査等	対象者	日時（受付時間）
母子手帳交付	妊娠とわかったら、なるべく早く母子手帳の交付を受けましょう。	9月15日(金) 10月6日(金) 9:00～10:00
離乳食相談会	5年1月～4月生	9月12日(火) 9:45～10:00
3か月児健診	5年5月1日～6月30日生	9月27日(水) 12:30～12:45
ベビーとママのリフレッシュ体操	生後2か月から1歳の誕生日を迎える月までのお子さんとその家族	10月17日(火) 10:00～11:00

◎問い合わせ・会場 保健センター（電話：62-2096）
※乳幼児健診の際には、『母子手帳』『バスタオル』『問診票』を持参してください。当日体調が悪い場合や、都合の悪い方は、保健センターにご連絡ください。

暮らしの情報



住宅・土地統計調査 にご協力ください

10月1日を調査期日として、令和5年住宅・土地統計調査を実施します。この調査は、私たちの暮らしと住まいに関する計画や施策の基礎資料として幅広く利用される、重要な統計調査です。

調査への協力をお願いします。

調査方法
9月上旬から調査員が該当する調査区内を巡回し、建物の状況を確認、「調査のお知らせ」を配布しま

すので、ご協力をお願いします。

調査をお願いする世帯には、9月下旬に調査員が伺い、調査書類をお配りし、回答を依頼します。

より便利に皆様にご回答いただくため、パソコンやスマートフォンを使って、簡単にインターネットで回答することが可能となっていますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答をお願いします。

対象地区

新地町内

◎問い合わせ

企画振興課 企画調整係
☎62-2112

統計調査員を 募集します

町では、各種統計調査に従事する新地町統計調査員協議会会員を募集しています。

統計調査員とは

「統計調査員」は、調査票の配布、回収や点検、整

理などの業務を行います。世帯や事業所と直接やりとりをする、統計調査の仕事の中で最も重要な役割を担っています。

仕事の内容

調査ごとに違いがありますが、主な内容は次のとおりです。

- ① 調査員事務打合せ会への出席
- ② 調査区域および調査対象の確認・調査票配布のための書類準備等
- ③ 調査対象への調査票の配布・記入依頼・回収
- ④ 回収した調査票の検査・整理
- ⑤ 調査票等の関係書類の提出

登録申請方法

「新地町統計調査員協議会入会申込書」に必要事項を記入し提出してください。申込用紙は企画振興課窓口にて備え付けてあります。

◎問い合わせ

企画振興課 企画調整係
☎62-2112

令和5年度敬老会

お年寄りを敬い、長寿を祝う「令和5年度敬老会」を開催します。

敬老会では、敬老祝金や長寿杯、長寿夫婦杯の贈呈や金婚夫婦表彰など各種表彰の他、楽しいアトラクションを予定しております。

敬老祝金等の対象者に対しては別途通知を行います。

日時 9月16日(土) (8時受付開始)

場所 新地町文化交流センター(観海ホール)

◎問い合わせ健康福祉課 福祉係 (電話: 62-2931)

しんちゃんGO

臨時運行

9月16日(土)はのりあいタクシー「しんちゃんGO」が運行します。ぜひご利用ください。

※予約いただいた方のみ利用可能です。

○予約

しんちゃんGO情報センター
(電話: 63-2338)

10月は土地月間です

10月は土地の大切さなどを考える「土地月間」です。

土地は限られた資源であるとともに、私たちの生活や企業活動にとつて必要不可欠な基盤であり、豊かな暮らしや将来の子どもたちのために土地所有者には自身の土地の適正な利用と管理が求められます。

この機会に土地の有効活用や適正管理について今一度考えてみましょう。

○土地の適正な管理をお願いします。

土地は、適正な利用と管理が行われないと雑草の繁茂や不法投棄による周辺土地への悪影響など、多くの問題が発生することが懸念されます。

使わなくなった土地についても、定期的な草刈の実施など適切な管理をお願いします。

○一定規模以上の土地購入等の契約には届出が必要です。

一定規模以上の土地の権利

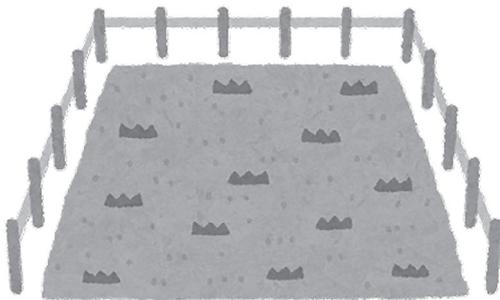
に関して契約を締結した場合には、契約日から2週間以内、土地が所在する市町村長を経由し知事に届出が必要です。

届出をしなかった場合には行政処分が科せられることもありますので、期限内に必ず届出をお願いします。

※届出が必要となるのは、土地の所在や契約内容によって異なりますので、担当までお問い合わせください。

◎届出先・問い合わせ

企画振興課 企画調整係
☎62-2112



頑張れ！新地ナイン！

第17回市町村対抗福島県軟式野球大会

”1回戦の相手は泉崎村”

市町村代表チームが対戦する市町村対抗福島県軟式野球大会は、9月9日から10月1日までの日程で行われます。

応援よろしくをお願いします！

1回戦日程：9月16日(土) 8時30分(開始予定)

※天候により変更となる場合があります。

場所：ほばら大泉球場（伊達市）

対戦相手：泉崎村



第10回市町村対抗福島県ソフトボール大会

”1回戦の相手は矢祭町”

市町村代表チームが対戦する市町村対抗福島県ソフトボール大会は、10月14日から28日までの日程で行われます。

応援よろしくをお願いします！

1回戦日程：10月14日(土) 11時(開始予定)

※天候により変更となる場合があります。

場所：相馬光陽ソフトボール場（相馬市）

対戦相手：矢祭町



9月1日より新地町バスストップから利用できる高速バスのダイヤが改正されました

改正の内容

令和5年9月1日より高速バスのダイヤが改正され、平日の1便（往復）が減便になりました。土休日ダイヤに変更はありません。また、乗車運賃が改訂となりました。詳しくは、下記時刻表および運賃表をご確認ください。

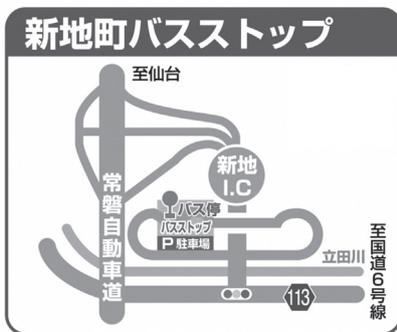
令和5年9月1日以降改正 高速バス時刻表

新地⇒仙台行き（平日ダイヤ）			
新地町バスストップ	6時55分	7時55分	8時55分
イオンモール名取	—	—	—
仙台駅東口	7時55分	8時55分	9時55分
あおば通り駅	8時10分	9時10分	10時10分
東北大学病院前	8時25分	9時25分	10時25分

新地⇒仙台行き（土休日ダイヤ）				
新地町バスストップ	7時55分	8時55分	9時55分	10時55分
イオンモール名取	—	—	10時33分	—
仙台駅東口	8時55分	9時55分	11時05分	11時55分
あおば通り駅	9時10分	10時10分	11時20分	12時10分
東北大学病院前	9時25分	10時25分	11時45分	12時25分

仙台⇒新地行き（平日ダイヤ）			
東北大学病院前	12時55分	14時35分	—
仙台駅東口	13時20分	15時00分	18時20分
イオンモール名取	—	—	—
新地町バスストップ	14時20分	16時00分	19時20分

仙台⇒新地行き（土休日ダイヤ）				
東北大学病院前	12時55分	14時35分	—	—
仙台駅東口	13時20分	15時00分	16時00分	18時20分
イオンモール名取	—	—	16時32分	—
新地町バスストップ	14時20分	16時00分	17時10分	19時20分



▲ 新地町バスストップは新地インターチェンジ入口手前を左折した先にあります。

令和5年9月1日以降運賃表

	片道券	2回券
イオンモール名取	800円(400円)	1,500円(750円)
仙台駅東口 あおば通り駅	900円(450円)	1,700円(850円)
東北大学病院前	1,100円(550円)	1,900円(950円)

- ・（ ）内の金額は、割引運賃になります。
- ・小学生以下と障がい者および運転免許返納者の方は半額になります。（障がい者手帳・運転経歴証明書を乗車時にご提示ください。）※運転免許返納者の方は片道券のみ半額となります。
- ・3歳以下無料です。
- ・中学生以上は「普通運賃」です。
- ・定期券も販売しております。詳しくは、東北アクセス株式会社へお問い合わせください。

ホームページ
はこちら



東北アクセス
株式会社 HP

◎問い合わせ

企画振興課 企画調整係
（電話：62-2112）
東北アクセス株式会社
（電話：23-2964）

農地等での爆音機使用の注意点について

水田や果樹畑等において、鳥害を防止するため、大きな音が発生する爆音機等を使用する場合は、次の点に十分注意してください。ご理解ご協力をお願いします。

1. 設置箇所、音量および設置台数を適正に使用すること。
2. 住宅地等に隣接している場合は、爆音機等は極力設置せず、防鳥ポールや防鳥網等を使用すること。
3. 爆音機等の使用時間は夜明けから日没までとし、夜間は使用しないこと。

また、住宅地周辺においては、早朝（概ね午前6時以前）の使用はできるだけ控えること。

◎問い合わせ

農林水産課 農林水産係
☎62-2194

納税貯蓄組合加入者募集

納税貯蓄組合では、地域や職場などを単位として、納期内納付の推進や、税知識の普及と納税意識の高揚のための活動を行っています。また、町税を完納した組合に対しては、完納奨励金が交付されます。

現在、町内には77の組合があり、新たな加入者を随時募集しています。加入を希望する方、もしくは、新たに組合をつくりたい方は、お気軽にお問い合わせください。

◎問い合わせ

税務課 税務係
☎62-2119

建物を取り壊したときは家屋滅失届の提出をお願いします

建物（家屋）の全部、または一部を取り壊した場合は、役場税務課へ「家屋滅失届」を提出してください。なお、登記されている建

物（家屋）を取り壊し、法務局で建物滅失登記が完了している場合は届出が不要です。建物滅失登記の手続きは法務局（相馬支局）で

のご不明な点がありましたら、役場税務課までご相談ください。

◎問い合わせ
税務課 固定資産係
☎62-2119

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動が9月21日(木)から9月30日(土)までの10日間にわたり行われます。

交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を徹底し、交通事故防止に努めましょう。

運動のスローガン

反射材

「ここにいるよ!」の

メッセージ

運動の重点

1. こどもと高齢者を始めとする歩行者の安全の

確保

2. 夕暮れ時と夜間の交通事故防止および飲酒運転等の根絶
3. 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

◎問い合わせ

町民課 生活環境係
☎62-2116

手むすびカフェ 9月の開催日

障がいのある方やそのご家族の方が、気兼ねなく相談やふれあいを行えるよう、毎月1度集いの場を開催しています。相談支援専門員に個別の相談も行えますのでぜひお気軽にご参加ください。

開催日 9月14日(木)

開催時間 13時30分～15時

開催場所

町文化交流センター会議室

◎問い合わせ

ウイル生活・相談支援センター
☎080-6897-7515

社会福祉協議会の「弁護士無料相談所」

生計、相続、借金などの専門的な相談にも応じます。日常生活でお悩みの方は申し込みの上、ご相談下さい。

日時

10月10日(火) 13時～15時

場所 保健センター内

担当弁護士

ブレインハート法律事務所

相馬オフィス

高橋 俊樹 弁護士

※都合により担当弁護士が変更になる場合があります。

相談を希望される方は、町社会福祉協議会までお申し込み下さい。

◎申込・問い合わせ

町社会福祉協議会
☎62-4213

わくわくランド イベント情報

「わくわくふれあいお魚
タッチプール・科学教室」

開催日時 9月24日(日)

① 福島県水産資源研究所に
よるタッチプール・水槽・
パネル展示コーナー・10時
～15時

② 科学教室・10時30分～12
時～13時30分～15時

内容 お魚に触れ合うタッ
チプールを開催します。科
学教室では、発泡スチロー
ルで作ったボートを不思議
な力で走らせます。

開催場所

① タッチプール：テラス
パネル展示：エントランス
ホール

② 科学教室：テラス

定員

① タッチプール・・・無し
② 科学教室・・・各回20名
(合計40名)

※先着順

参加対象

①、②どなた様でも
※小学生以下は保護者同伴

参加費 無料

申込方法 当日受付

※科学教室のみ各回30分前
より受付開始



「アロマストーンを作ろう」

開催日時 9月24日(日)

10時30分～12時
13時30分～15時

内容 石膏で作った石に、
ビーズや花材を飾り、アロ
マオイルをつけてオリジナ
ルのアロマストーンを作り
ます。

開催場所 わくわくランド
多目的ホール

定員 各回20名(合計40名)

参加対象 3歳以上の方
※小学生以下は保護者同伴
とする

参加費 無料

申込方法

電話による先着受付

9月9日(土)10時より受付開始
※定員になり次第終了

◎申込・問い合わせ

相馬共同火力発電株式会社
新地発電所内

わくわくランド

☎62-4722

働きたいネットから のお知らせ

「出張求職者カフェ」

ハローワーク相馬に求職
者カフェがやってきました！
就職活動に役立つ支援が無
料で受けられます。是非お
越しください。

日時

9月13日(水) 9時～12時

場所 ハローワーク相馬
2階会議室

支援メニュー

・証明写真撮影※撮影希望
の方はスーツ等の着用がお
すすめ！貸出用ジャケット
有・応募書類作成・面接対
策・適職診断 等

ホームページ
はこちらから



出張求職者カフェ
HP

【実践型Word・Exc eーパソコン講座】

仕事に活かせるパソコン
スキルを学びませんか？
ワード・エクセルの基本
操作はもちろん、ケースス
タデイを通してビジネスの
現場が求める実践的なスキ
ルを短期間で習得できま
す。

パソコン操作に自信を
持って、就職活動に活か
しましょう！

日時

10月16日(月)～10月27日(金)

9時20分～16時

日数 10日間(平日のみ)

応募締切 10月5日(木)

場所 南相馬ジャスモール
多目的ホール

定員 20名

※受講料・テキスト代無料
※申込締切後、当該事業の
主旨に基づき厳正に選考
し、選考結果は電話にてご

連絡します。

※雇用保険受給者へ参加証
明書を発行します。

ホームページ
はこちらから



パソコン講座 HP

◎問い合わせ

福島広域雇用促進支援協議会

☎024-524-2121



ハロウィンジャンボ5億円
(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ5千万円
(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよ
まちづくりに使われます。

各1枚 300円

9月20日(水)2種類同時発売!

発売期間 9/20(水)～10/20(金)

公益財団法人福島県市町村振興協会

相馬税務署からの お知らせ

税務署では、事業者の方を対象に消費税のインボイス制度説明会を開催します。

説明会は、事前予約制により、定員になり次第、または説明会開催日の2日前に受付を終了します。

日時

9月14日(木) (主に消費税の
免税事業者の方向け)
13時30分～(1時間程度)

会場

相馬税務署 2階会議室

定員 20名

※説明会終了後、希望する方を対象に登録要否相談会(定員4名)を開催します。
※会場の駐車場には限りがありますので、ご来場の際には、可能な限り公共交通機関をご利用ください。

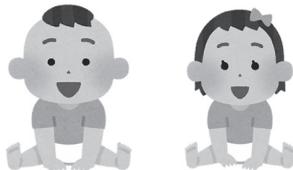
◎問い合わせ

相馬税務署

法人課税第1部門

☎ 36-3942

(令和5年7月21日～令和5年8月20日届出)
この期間の掲載を希望される出生届出はありませんでした。



掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

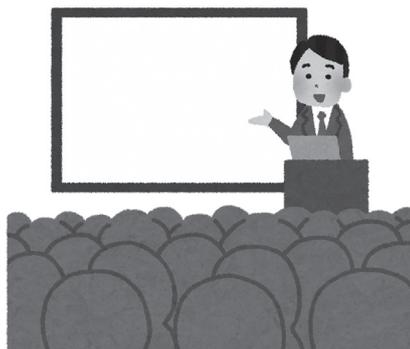
ご冥福をお祈りします

(令和5年7月21日～令和5年8月20日届出)

(名前)	(年齢)	(地区)
柳沼 正洋	42歳	鉄炮町
菊地 キヨ子	97歳	作田
岩佐 ソノ	90歳	岡
森 榮子	90歳	杉目
菅野 好重	79歳	菅谷

(敬称略)

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。



おしごと相談会9月

ふくしま生活・就職応援センターでは、「おしごと相談会」を開催します。「仕事がしたいけど、自分には何ができるだろう」「いろいろなものが値上がりして、年金だけでは不安だ。少しの時間でも働ける仕事はないかな」など仕事についてお悩みの方はいませんか。相談は無料です。

日時 9月21日(木) 13時30分～15時30分
場所 新地町役場 1階 101相談室
内容

就職活動に対する相談や履歴書、職務経歴書の書き方などお気軽に御相談ください。

申込方法 事前予約が必要です。

◎申込・問い合わせ

ふくしま生活・就職応援センター南相馬事務所
(電話：23-1239)

今月の 納付

国民健康保険税 第3期
介護保険料 第3期
後期高齢者医療保険料 第2期
10月2日(月)までに納付、または引落口座残高の確認をお願いします。

◎問い合わせ

税務課 (電話：62-2119)

健康福祉課 (電話：62-2931)

人の動き

福島県現住人口
調査月報に基づく

人口 / 7,676人 (－12)
男 / 3,847人 (－11)
女 / 3,829人 (－1)
世帯数 / 2,790世帯 (±0)

8月1日現在 () は前月比

2023.9.12 (火)
13:30～15:30

新地町文化交流センター
(多目的ホール)



- ・事前登録不要
- ・入場無料
- ・オンライン配信あり

2023年度 尚英中学校 環境・エネルギー 学習プログラム

新地町立尚英中学校と東京大学新領域創成科学研究科の交流事業として2019年度に開始された「環境・エネルギー学習プログラム」は今年で5年目を迎えます。

2023年度より、地域のみならずにもプログラムを公開いたします。東京大学や国立環境研究所の研究者の講義を、中学生と一緒に楽しみください。

プログラム

- 13:30 開会挨拶 (新地町立尚英中学校)
- 13:35 東京大学新領域創成科学研究科・UDCLしんちの紹介
- 13:50 「微細藻類でめざす脱炭素社会」
東京大学新領域創成科学研究科・三谷啓志 特任教授
- 14:40 「エネルギーの地産地消で実現する脱炭素地域づくり」
国立環境研究所社会システム領域・平野勇二郎 主幹研究員
- 15:25 閉会挨拶 (新地町役場)



このプログラムでは、微細藻類の特徴とそれらがどのように利用できるかについて、分かりやすく説明して微細藻類という小さな生物の大きな影響力を学びます。

私たちは石炭や石油を使いますが、これらは太古の生物が太陽のエネルギーを蓄えたものです。しかし、人類がこれらの蓄積エネルギーを急速に使うことで、地球環境に大きな変化をもたらしています。現在、微細藻類を使ったバイオマス燃料の開発が進んでいます。この新しいエネルギー源の可能性と課題を解説して、その解決策を尚英中学校や地域のみなさんと考えます。



東京大学
三谷先生



国立環境
研究所
平野先生

近年は地球温暖化が深刻な問題となっているため、化石燃料の消費による二酸化炭素の排出を抑制することが重要です。そのためには、例えば太陽光発電や風力発電などのような再生可能エネルギーを増やしていく必要があります。

このため、今後は地域の再生可能エネルギーを地域内で消費するエネルギーの「地産地消」の実現を目指していく必要があります。このプログラムでは、地球温暖化の原理や対策の現状について説明し、様々な地域における脱炭素地域づくりの事例を紹介します。

当日は、会場にお越しになれない方のために、オンライン配信を行います。オンライン参加をご希望の方は、右のQRコードよりお申込みください。お問い合わせも同じQRコードよりお願いいたします。

